

●炭焼き体験 2月25日着火、28日窯閉め

2023年度の炭焼き体験は原木をどのように用意するのかが最大の課題でありました。農園の東斜面の一部枯れている大きなコナラを伐採して、炭焼きに使用できそうな部分を炭窯に適当な長さ1.1mほどに切りそろえましたが、太い部分が多くて2分割、4分割にする必要がありました。その他に、木津川出張所からヤナギの原木をいただき、軽トラックで2台分運びました。今年の炭焼きではヤナギの原木だけで行いましたが、今年は農園のコナラが8割ほど薪材になりました。2月17日の竹蛇籠設置後に森島さんと寺村さんに作業していただきました。薪割り機でも一度には割り切れず、ひびを入れた後に斧2本とハンマーを使って割っていただきました。まさに体力勝負の連続での大仕事でした。

原木の窯入れを23日に大村、森島、播川、有田、金田、太田の6人で行い、25日9時の着火時には金田、小川、太田の3人でしたが、その後大村、寺村、森島さんの他に、今年92歳になられた植西千宇さんと、今年大阪公立大学に移られた竹門先生も参加していただき、昼過ぎまで窯に材木を入れて燃やしました。着火後2時間ほどで温度が60度になったので、木酢液採取の横煙突を使用すると最終的には約70リットルの木酢液が採取できました。翌日の26日は温度が60度台に下がり心配しましたが、翌々日の27日の朝に煙突を太い縦型の土管に変更すると排煙温度はどんどん上昇して夕方には100度に達しました。このままでは夜中に閉めることになると大変なので通風口を絞りと、28日の早朝7時には220度になり、煙突から出る煙が透明になったので、煙突と通風口を完全に閉めました。以前から炭焼き窯を使っておられた、植西千宇さんには昨年引き続きご指導いただき、窯焚きを終えるタイミングと窯を閉めるタイミングを煙突から出る煙の量や色から判断することを丁寧に教えていただき大変感謝しております。あと2、3日すると窯を開けて炭を取り出すことができると思います。



●近畿川のフォーラムに参加 2月24日(土) 13時~17時 寝屋川市の摂南大学

里山の会からは森島保副理事長と太田敏之理事が参加しました。約50人の参加で奈良県からは大和川クラブ、大阪府の寝屋川クラブ・芥川クラブ、兵庫県から猪名川クラブ等と和歌山県からも来られていました。それぞれが活発に活躍されていることが発表されました。そして近畿地方での舟運についての解説があり有意義な会議でありました。

●自然環境保全京都府ネットワーク2024年度総会と交流会が実施されました。

JR 駅前の長岡京市パンビオで2月24日(土)13時~17時30分までの会議でした。舞鶴市や京丹後市からの出席で40人弱の参加がありました。発足以来7年目で4月に京都府と京都市の連携で生物多様性センターの結成(専従職員の実現)、だったり第1回生きものフェスタの実行や三重県立博物館視察が行ったとの報告、そして予算決算では自己負担事業の在り方に疑問が出されていました。新年の予算も事業計画も原案通り承認決定され、交流集会では全参加者が実績を報告し悩みを出し合い、互いの活動を理解し合うことが出来ました。2024年度も9月28-29日に第2回生きものフェスタ開催を確認決定しました。

●国交省淀川河川事務所・木津川希少種植生調査業務完了報告書類製作作業完成

国交省淀川河川事務所が2月19日に来所されて、業務完成報告の除草35ヶ所の年2回の作業報告の写真提出が求められましたが、不十分なところが指摘されて、この三日間修正補修に全精力を注ぎこみましたが10カ所分（35か所のうち）が不足しましたので、関係者に助力をお願いしたところ協力が得られまして、一応完成しました。一息ついたところです。

次年度は作業前の写真撮影日を設定して除草前の撮影を行っておくべきと事を学びました。これまでは作業前に撮影をお願いしていましたが、現場では除草作業に集中しているので失念することになるようです。言うのは簡単ですが行動に結びつけて実施することにはかなり無理があるようです。2024年度はぜひ改善したいと思います。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

●「命をつなぐ水と流域 地球市民対話プロジェクト」に参加します。3月2日(土) 10時半

大阪市中央公会堂で開催 会員参加者の交通費は会が負担します。(会場でのお渡し)

里山の会は基調講演の直後(12:00)に活動紹介発表をします。

① 木津川川ガキ団の活動 ② 中聖牛と竹蛇籠の設置紹介

この2つの取り組みでの11:00から基調講演者（尾田様は建設省の元河川局長さんで、中村様は日本たばこ産業の方で以前トヨタ環境部の助成金をいただいた時の審査委員長であった）とのことで少なからずお世話になってきた方です。又13:20からのフォーラムのパネラーは常日頃お世話になっている顔見知りの方です。

この取り組みは里山の会として「第27回自然と環境」講演会として位置付け、会場への交通費を会負担として援助(会場でお支払い)することにしております。ぜひ皆様のご参加をお願い致します。

●外来種アカミミガメの駆除学習会 京都府自然環境課主催 3月4日(月) 13:00~15:00

福知山市三段池公園 サイエンスシアター(児童科学館)

アカミミガメの大きな繁殖地は、精華町菱田地域と京田辺市との境界で木津川の高水敷でエノキの巨木が50本近く生えている近くの川の中の水路で、以前大量のごみを取り除き、一帯を公園に指定された場所です。ここはモーターバイクの練習地として利用されていた所でもあります。

●「乙訓の自然を守る会」から学ぶ 学習会講演会 開催 3月7日(木) 13:00~ 京田辺市中央公民館

理事長の宮崎俊一氏からご講演をいただきます。「乙訓の自然を守る会」は1980年代に発足されて多くの専門家を専門グループに組織化して観察調査そして自然を守る取り組みに積極的に励み、行政と数多く協力して自然を守り、保全への努力を積み重ねてこられておられます。ぜひ里山の会も多くのことを学べる機会ですので、ぜひご参加ください。

●メダカ池の鳥防護柵設置 安岡様

メダカ池の周囲の雑木を整理してメダカの配分をしやすくする為に、これまで手を付けてこなかった所を綺麗にしたところ、シラサギが池に降り立ち、目につくメダカを食べつくしてしまいました。後日点検してみると完全にいなくなっているのではなく10匹程度のメダカが泳いでいました。さっそくそれらを保護するために、シルバーセンターに依頼をして、写真のような防護網蓋を取り付けていただきました。少しの時間がありますので5月17日にはお分け出来るかもしれません。

